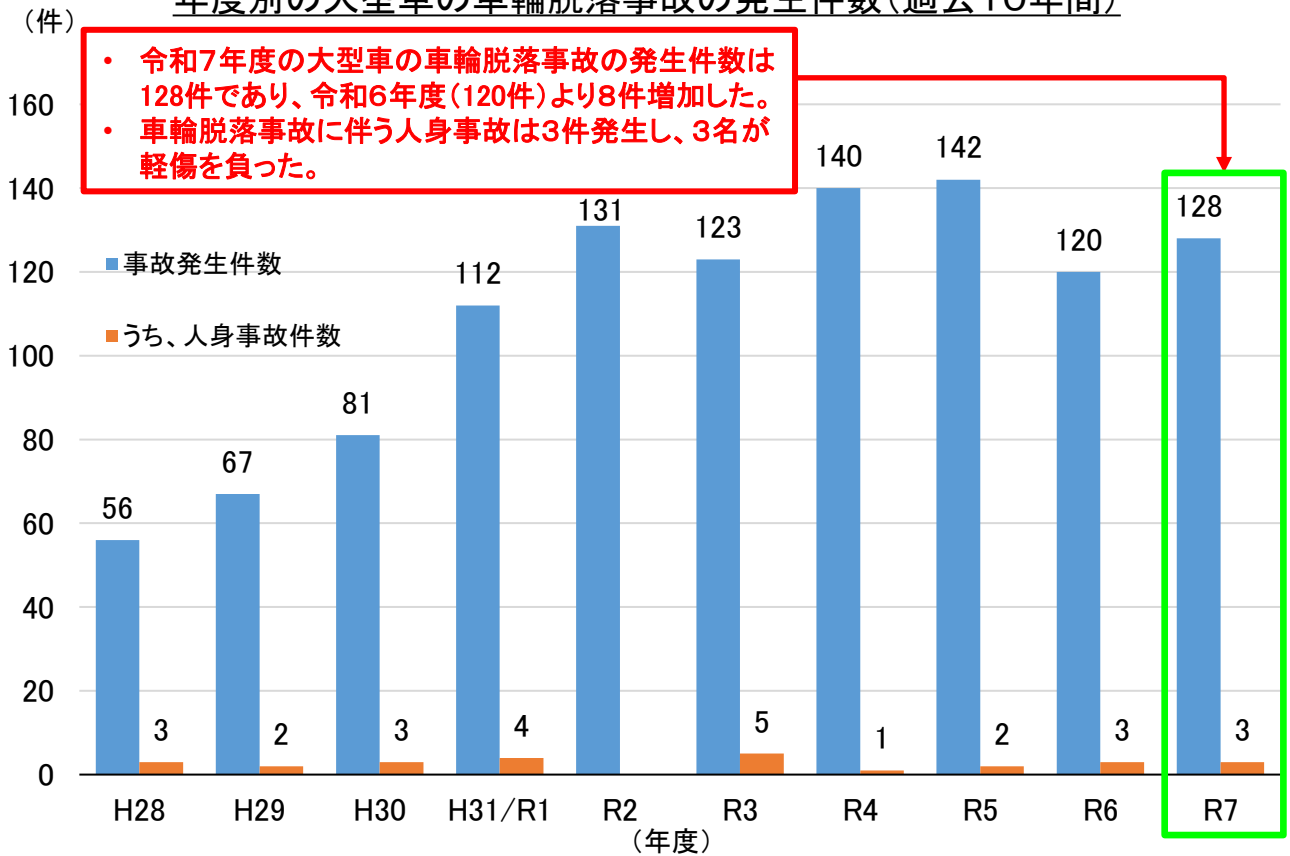


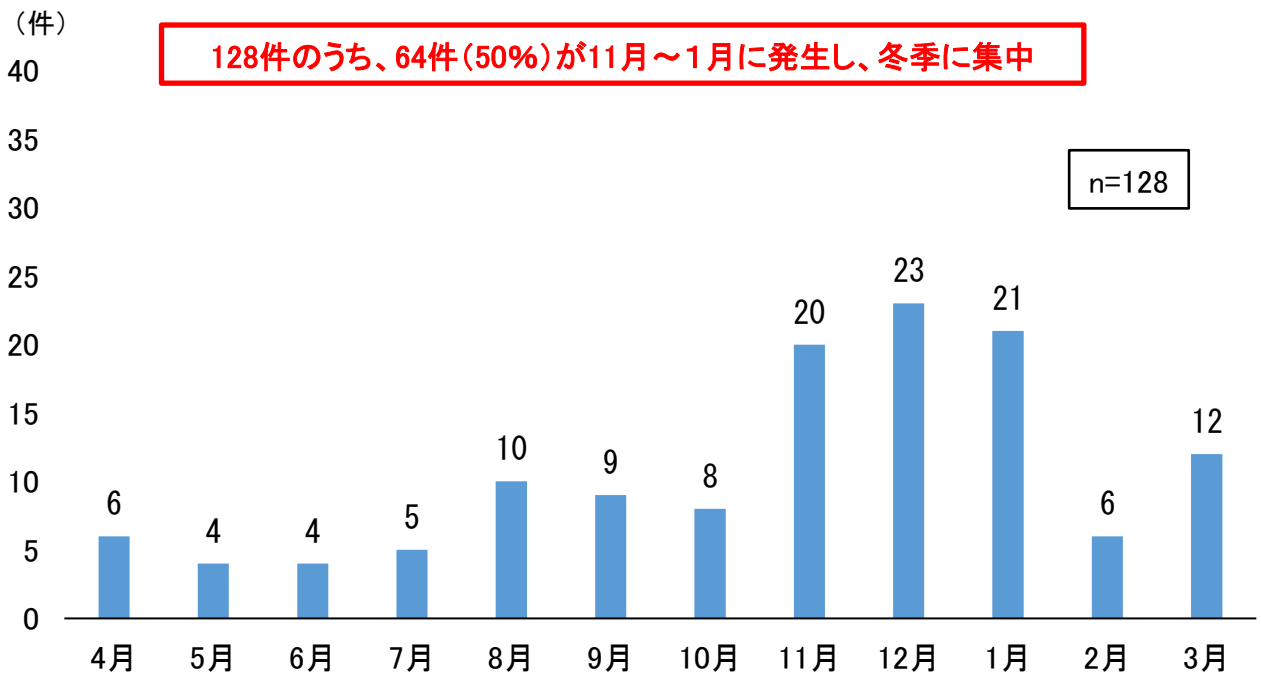
年度別の大型車の車輪脱落事故の発生件数(過去10年間)



※ 車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

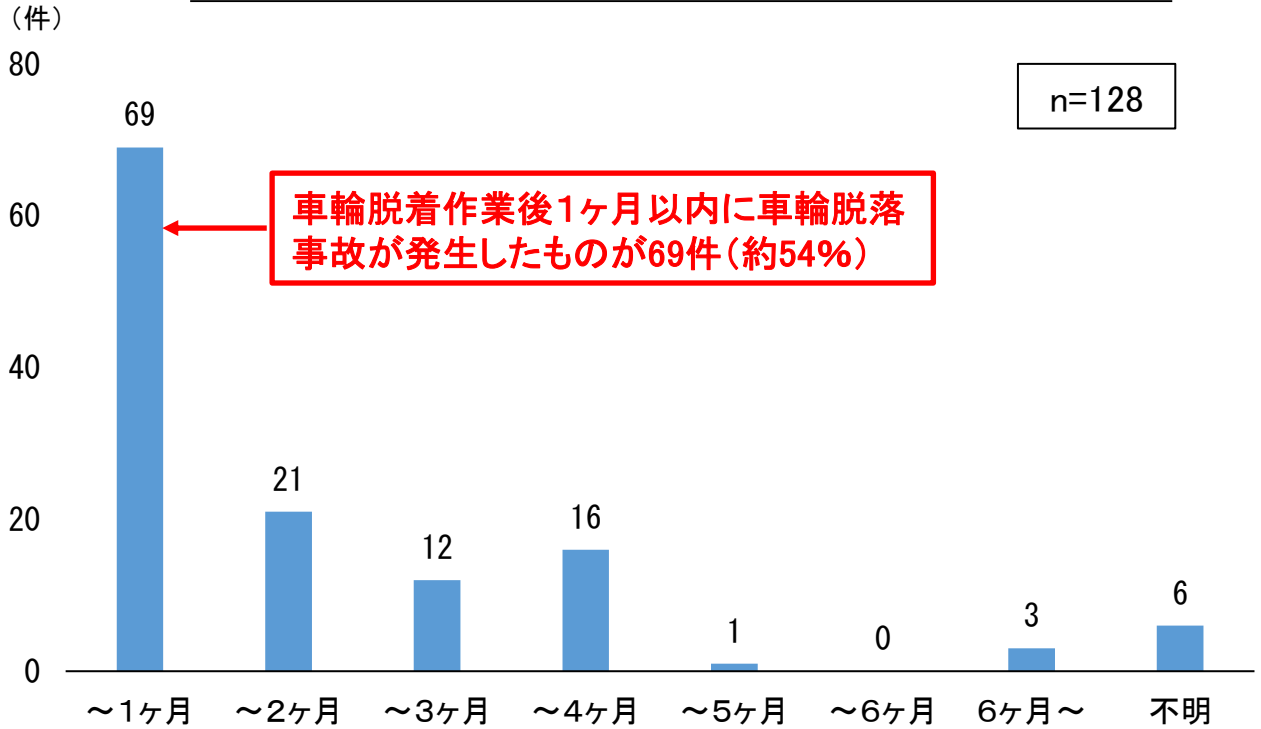
車輪脱落事故の月別発生件数(令和7年度)



出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

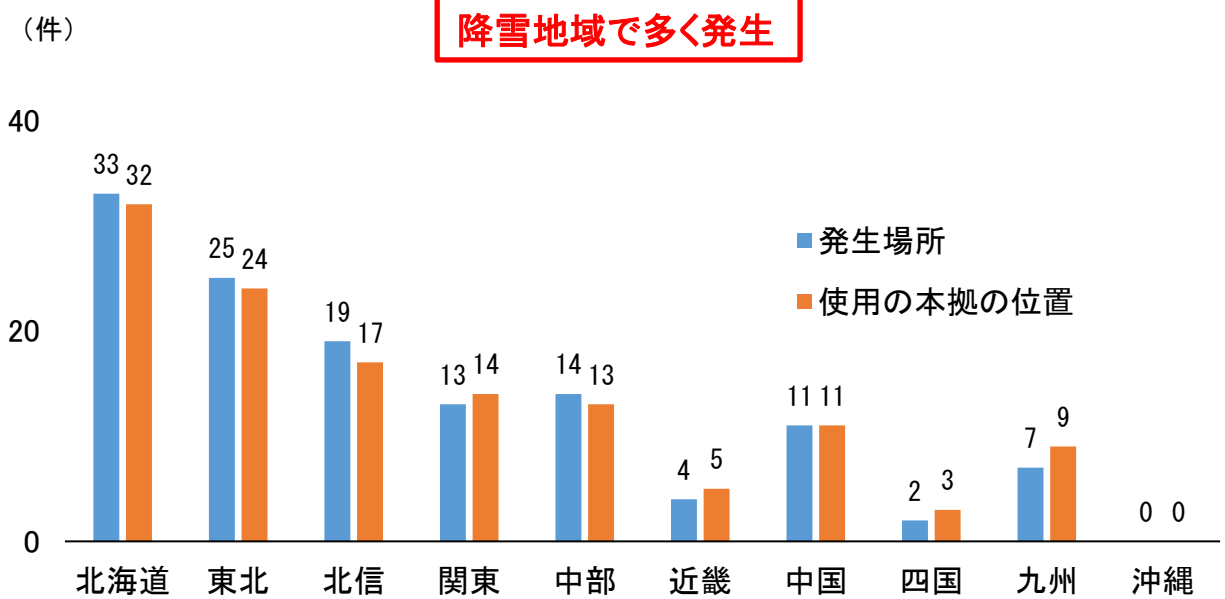
車輪脱落事故発生状況

車輪脱着作業から車輪脱落事故発生までの期間(令和7年度)



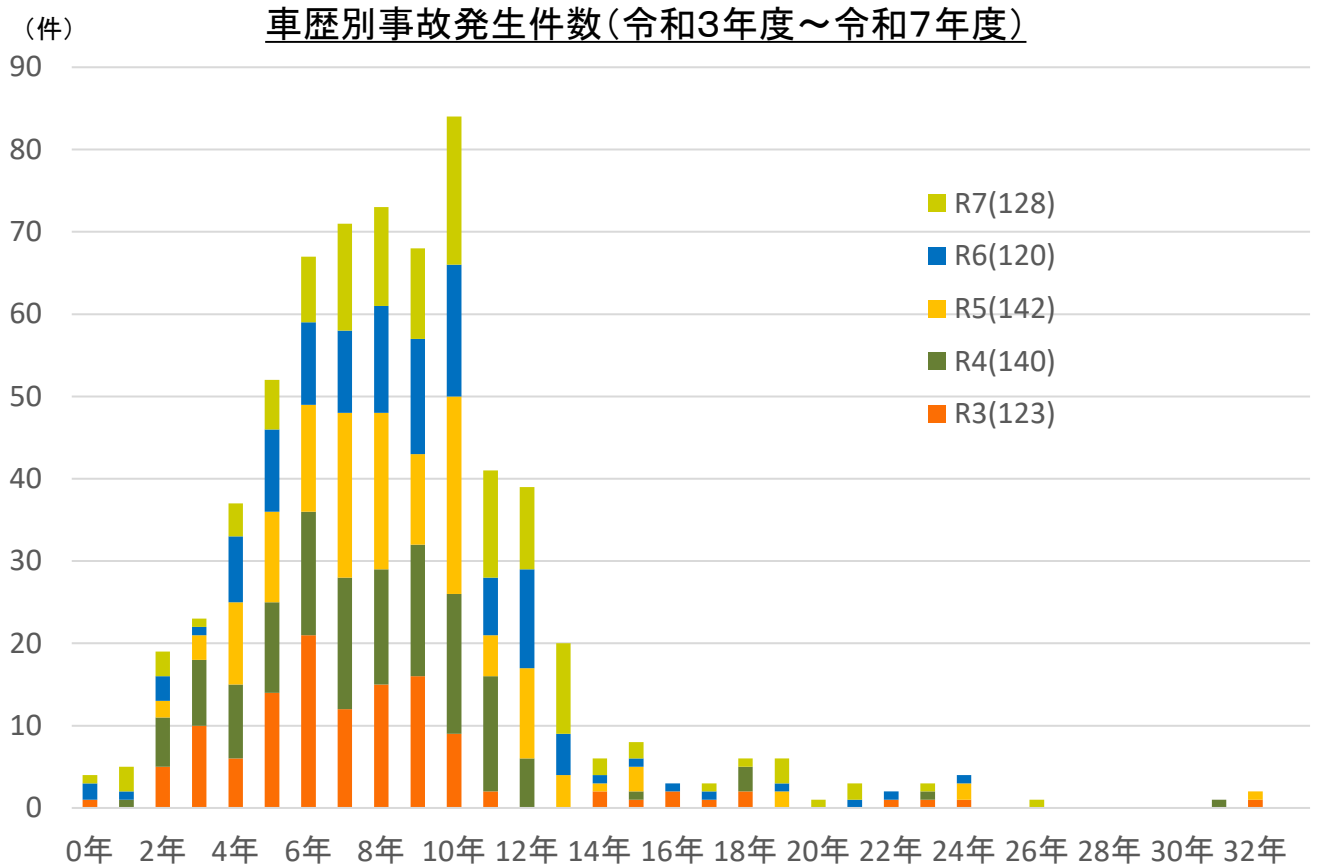
出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

事故発生場所別、使用の本拠の位置別発生件数(令和7年度)



出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

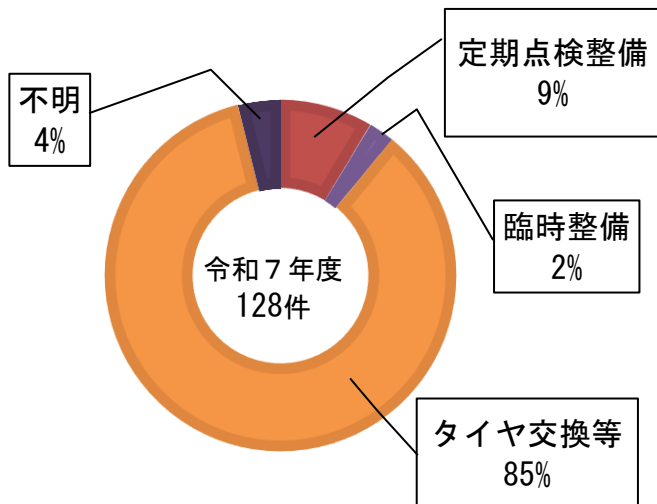
車輪脱落事故発生状況



出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

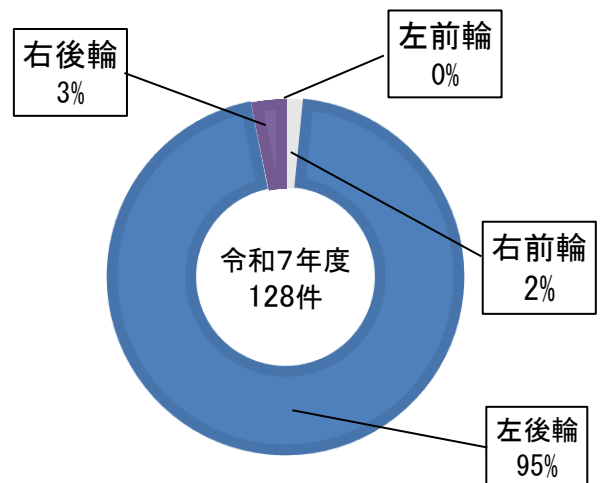
タイヤ脱着作業内容別

約85%がタイヤ交換等
作業実施後の脱落



脱落した車輪の位置

約95%が左後輪からの脱落

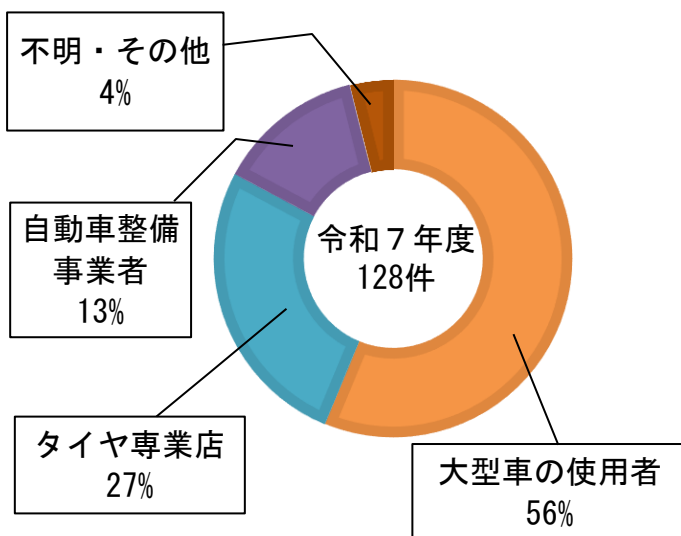


出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

車輪脱落事故発生状況

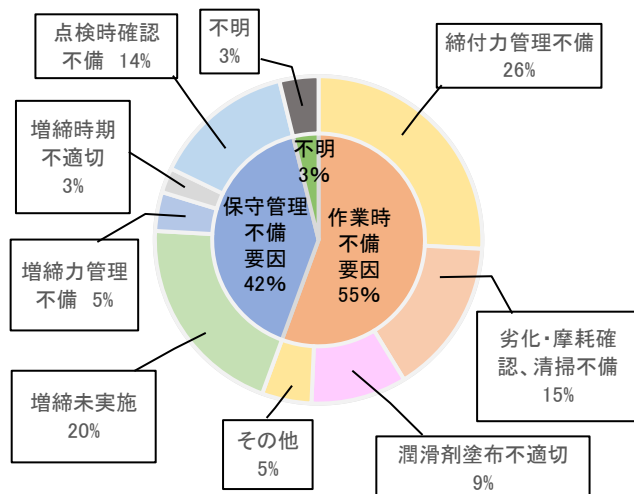
タイヤ脱着作業実施者別

約56%が大型車ユーザーによる
タイヤ脱着作業後の脱落



作業及び保守管理の不備

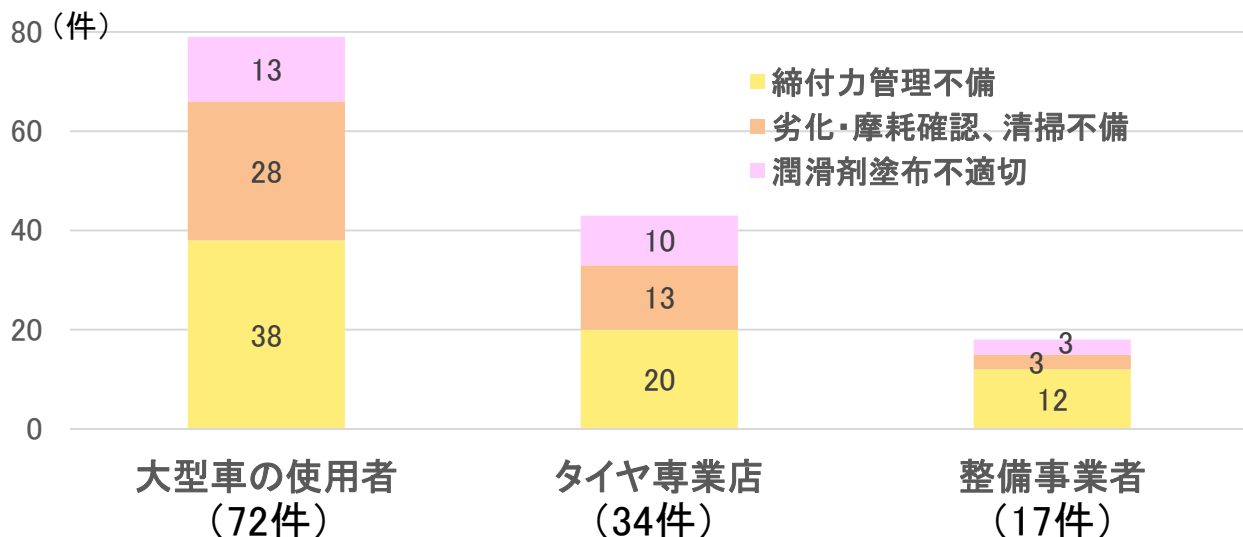
※ 1件の事故に複数の不備もあり



出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

タイヤ脱着作業実施者別タイヤ脱着作業時における不備(令和7年度)

- いずれの作業実施者においても、締付力管理不備が最も多く確認された。
- 一部の整備事業者では作業状況を映像で記録していたため、より詳細な内容の調査ができ、それによると、締付力管理不備の12件中6件でタイヤ脱着時のホイール・ナット締め忘れが確認された。
- また、いずれの作業実施者においても、潤滑剤塗布不適切が未だに多く確認されている状況。



※ タイヤ脱着作業実施者属性下段記載のカッコ書きは車輪脱落事故件数。なお、1件の事故に複数の不備があるため事故件数と不備件数は一致しない

出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

車輪脱落事故車両調査

- 令和7年度に発生した車輪脱落事故車両128台のうち89台に対して、各部品に劣化・損傷状態や、タイヤ脱着作業の実施状況を確認する事故車両調査を実施した。
- 事故車両調査の結果、
 - ・ホイール・ナットとワッシャのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットとワッシャがスムーズに回転しないものや、ワッシャが固着しているもの
 - ・ホイール・ボルトやナットに著しいさびがあるものや、ゴミ等の異物が付着しているもの
 - ・ディスク・ホイールやハブ等に著しいさびがあるもの等、適切なタイヤ脱着作業が実施されていない車両が確認された。

事故車両調査により確認された各部品の劣化・損傷事例

潤滑剤が塗布されていない



ホイール・ナットが固着し、油分が付着していなかった。

締め付け不良・潤滑剤が塗布されていない



ホイール・ボルトのねじ部に発錆と痩せを確認。また、油分が付着していなかった。

ディスク・ホイールやハブの錆び



ディスク・ホイールの表面全体が錆びている。



ハブのディスク・ホイール当たり面に錆が付着。